

# 活セン ニュース

2018年1月号

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834

## 謹賀新年



「いなべ市は、市民活動・ボランティア活動に参加する人が日本一多い地域です。」こんな自慢ができるような“まちづくり”を、一緒に目指しましょう。今年も、職員一同頑張ります。よろしくお願いいたします。

## 市民講座のお知らせ

### ボランティアが増える 集まる工夫を学ぶ

第2回 1月20日（土） 13：30～15：30

「ボランティアがいきいきする方法あれこれ」

定員 20人（先着順）

参加費 無料

場所 いなべ市市民活動センター 会議室

（員弁町笠田新田 111 員弁老人福祉センター）

講師 岡村 こず恵さん



社会福祉法人 大阪ボランティア協会 事務局次長

ボランティアマネージャとして、ボランティアとの協働環境を整備

また、施策への市民参加や NPO の団体運営におけるファシリテーターを務める。マネジメントなどの研修講師、多数。龍谷大学非常勤講師

シニアのための

## スマートフォン講座

11月22日、27日の2回シリーズで、



「はじめてのスマホ講座」を開催しました。この講座はドコモショップいなべ店の協力で“らくらくスマートフォン”を使って第1回は、基本操作、電話のかけ方など操作方法を学びました。

第2回は、アプリの使い方、ラインの活用などを操作しながら学びました。スマホを使うのは、はじめてと言う方が多くみなさん戸惑って見えましたが、丁寧に操作方法を教えて頂きました。最後に、インターネット犯罪についても説明があり、参加者の皆さんは、驚いていました。

## 「このゆびとまれ」が、こども食堂を開設 (代表 小川)

子どもに限らず、地域の誰もが、一緒にごはんを食べながら交流できる場所を作りたいと、有志の仲間が「このゆびとまれ」を結成、「こども食堂」を始めました。3回目となる11月28日のメニューは味ご飯、かきたま汁、大根のべっこう煮。66組119名が集まり、にぎやかなひとときになりました。小さなお子さんと参加されたママは、「家だとバタバタしてしまうけど、こうやってゆっくり食事を頂きながらおしゃべりができてうれしい」と喜んでみえました。また、食材のお米や野菜の一部は寄付を活用しました。次回は1月30日(火)11~13時です。



(員弁健康センター和室、活動協力金200円)



## ボランティアのつどい

12月17日、いなべ市社会福祉協議会との共催で「ボランティアのつどい」を開催しました。

今年のテーマは「防災を考える」、認定NPO法人レスキューストックヤードの松山文紀氏を招いて懇談会を行いました。

- ①揺れから命を守る対策
- ②発生から1週間生き延びるための防災対策
- ③各家庭の事情に応じた備蓄(例 畑の野菜など)
- ④避難生活を想定した備えなどをグループで話し合いました。

「ずーっと災害を意識して過ごすのは難しいが、家族で防災の話をする、非常持ち出し袋を見直すなどのちょっとした意識を持つことと、災害になったらどうしようと話せるご近所づくりが大事」と松山氏。最後は、各自が書いた防災取り組み用紙を家庭に持ち帰り、目につくところに貼ることを確認して、「今日から始める日頃の備え」の懇談会を終えました。





## カナの訪問レポート

### こどもまつり

12月10日（日）、いなべこども活動支援センター主催の「こどもまつり」が員弁コミュニティプラザで開催されました。こどもまつりは、レギュラー教室で学んだ芸能や手芸、工作など、1年間の講座の成果を発表する機会として毎年開催されています。

午前の部は、ダンスや太鼓などの舞台発表とサイエンスショーがありました。お昼には更生保護女性会の皆さんの応援により、手作りのおにぎりや豚汁がふるまわれました。

午後の部は「まつりやたい」。

人気のフェイクスイーツ作りやバルーンアート、くるくるレインボーなどたくさんのブースが出店、子ども達は思い思いに各ブースを回り、作品づくりに夢中になっていました。小学生から大人までたくさんの方がボランティアスタッフとして参加されていたのがとても印象的でした。

子どもたちが、一所懸命何かに取り組む姿は、応援したいと思いますネ。



桑名工業高校の生徒による「コマづくり」コーナー



### さともり自主保育

野外保育の活動を始めて9ヶ月、はじめてのイベント「里山が育む子どものチカラ」お話し会＆ランチ会を開催しました。市内はもちろん、四日市や鈴鹿からもたくさんの参加がありました。さともりっ子たちが毎日いなべの山や川で遊び、自然に触れながらの成長してきた様子を、スライドショーで紹介、活動発表を行ないました。そして、それぞれの想いを話し合いました。

9月から親子参加を受け入れ、同じ想いをもったママたちの輪が広がっています。さらに4月からはさともり保育園（認可外）として、園児を募集中です。県やいなべ市も、野外保育の指導を取り入れるなどの動きができました。大人たちもまた、見守り、声掛けに工夫しながら共に成長する、この幼児「共育」が選択肢のひとつとしてあることが、母親たちの共感を得ることができると感じたイベントでした。



# ♡デンソーハートフルデー♡

株式会社デンソー大安製作所主催の「デンソーハートフルデー大安」を開催します！

**3月17日(土) 9:00~11:45** 参加者募集！！ 2月28日迄

市内5コースに分かれて、まちの散策と美化活動を行います。  
ゴールでは、地元のお菓子を食べながら交流します。抽選会もあります。  
各コース 20人、申し込み先着順です。

- \*Aコース (2.5km) 員弁庁舎～ねじり橋～めがね橋～八幡神社～員弁庁舎
  - \*Bコース (2.5km) 員弁庁舎～楚原神社～天白神社～真養寺～石仏忠魂碑～員弁庁舎
  - \*Cコース (3.0km) 員弁庁舎～四海波記念碑～地藏堂～大槇の木～八幡社～員弁庁舎
  - \*Dコース (3.5km) 員弁庁舎～覚通寺～万笑院～麻生田駅～楚原駅～員弁庁舎
  - \*Eコース (2.5km) 員弁庁舎～楚原駅～大泉駅～旧長宮駅跡～大泉新田神明社～員弁庁舎
- 注 コース内容は、変更になる場合もあります、予めご了承ください。

**申込方法** 参加者の住所、名前、電話番号、希望コースをお伝えください。

デンソー大安製作所 ボランティア支援窓口 まで、電話、FAX、メール  
☎ 0594-87-1221 fax 0594-87-1920  
E-Mail [hiroko\\_o\\_mori@denso.co.jp](mailto:hiroko_o_mori@denso.co.jp)

## いなべ市市民活動センター**移転**のお知らせ

\*12月21日より、**員弁老人福祉センター**へ事務所を移転しました。  
(今までの員弁健康センター東の建物です。)

開館時間は、今まで通り、平日9:00～18:00、土曜日10:00～16:00です。  
市民活動、ボランティア活動に関すること、助成金の相談、団体運営に関することなどお気軽にご相談ください。

また、員弁健康センターの調理室、和室を利用されていた方は、これまでどおり利用できます。  
利用申請は、いなべ市市民活動センター(員弁老人福祉センター)で受け付けます。

\*市民活動センターの二階会議室は、これまで通り利用できます。また、員弁老人福祉センターの会議室も利用できますので、ご希望の方はお問い合わせください。

**いなべ市市民活動センター** 員弁老人福祉センター内(員弁庁舎裏)

TEL (0594) 74-5806 FAX (0594) 74-5834

MAIL [i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp](mailto:i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp)

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ